

ほっこり坂越 レトロさんぽ

JR坂越駅から坂越湾まで徒歩約30分、海の駅まではさらに30分です



日本遺産『荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地船主集落』坂越
ゆっくり、ゆったり歩けば静かなたたずまいの中にあたたかい人のぬくもりも感じられることでしょう。

奥にあるのが 郷土館

奥藤酒造
0791-48-8005

創業以来400年、赤穂の地酒を造りつづけています。

坂越のまちなみ

石がたみの大道は、車通りも少なく、白壁と焼板の町家が並び、落ちついたまちなみ。路地地をのぞいたり、水路のせせらぎを聞きながら、ゆくり歩くといい。

新鮮な魚介やお土産にぴったりの海の幸が113130。シーズンにはカキの直売も。

大避神社 御旅所

坂越の船祭

国の重要無形民俗文化財 10月第2日曜日

生島

秦河勝墓所

旧坂越浦会所

（炭火焼）海鮮問屋 城JO
0791-46-8788
浜小屋ふうの店内でとれたこの魚介を炭火で焼いて食べらる。お好み焼きもアリ。

（一社）赤穂観光協会
兵庫県赤穂市加屋328 TEL 0791-42-2602
<http://www.ako-kankou.jp>

ほっこり坂越 レトロさんぽ



①千種川高瀬舟発着場跡



②木戸門跡



③坂越まち並み館



④奥藤酒造



⑤旧坂越浦会所

①**千種川高瀬舟発着場跡** 江戸時代、塩田から運ばれた塩がここで大八車に積みかえられ坂越港に運ばれた。

②**木戸門跡** 廻船業で栄えていた頃、町を守るため朝開き、夕べには閉じる門番がいた。

③**坂越まち並み館** 大正末期に奥藤銀行坂越支店として開設され、その後もいろいろな銀行として使用された。当時の名残の大金庫が残っている。☎0791-48-7770
時10:00～16:00 休 火曜 ※祝日の場合は翌日 料 無料

④**奥藤酒造** 慶長6年創業の、兵庫県で二番目に古い酒蔵。「忠臣蔵」や「乙女」といった銘酒が造られている。一角に郷土史料館があり、酒造りの道具や商品を積み込んで上方まで運んだ船の復元模型などを展示。☎0791-48-8005
時9:00～17:00 休 要連絡・年末年始 料 無料

⑤**旧坂越浦会所** 赤穂藩の支所でありながら茶屋の役割だった。藩主専用の部屋、観海楼からは湾にうかぶ生島が展望できる。☎0791-48-7755
時10:00～16:00 休 火曜 ※祝日の場合は翌日 料 無料

⑥**大避神社** 644年、蘇我入鹿から逃れた秦河勝が祭神とされている。ここには“12”という数字が階段にも井戸にも初穂料にもからんでいる。ミステリーファンならずとも興味をそそるパワースポットだ。境内に実る“ひよんの実”の由来もミステリアス。☎0791-48-8136

⑦**妙見寺観音堂** お堂の屋根は4枚の三角形が組み合わされていて、ピラミッドと同方向を向いているとか、原始基督教の造りだとか諸説が飛び交うパワースポット。また観音堂の蛙股に飾られた十二支の彫刻でしに生島を眺めることができる。

⑧**坂越湾** 毎年10月第2日曜日に瀬戸内三大船祭りである“坂越の船まつり”が開催される。

⑨**生島** 秦河勝の墓だといわれており、国の天然記念物でもある原始林が今もうっそうと茂っている。この島のおかげで、古来より坂越は瀬戸内航路の中継地としてだけでなく、風避け港としても栄えていた。

⑩**海の駅** 坂越の牡蠣や魚介類・加工品の直売所。一年を通して瀬戸内の新鮮な魚介類が楽しめる。時10:00～16:00 休 水曜日 ☎0791-46-8600
※営業時間・定休日は季節によって変動いたしますので電話にてお問合せください。



⑥大避神社



⑦妙見寺観音堂



⑧坂越湾



⑨生島



⑩海の駅